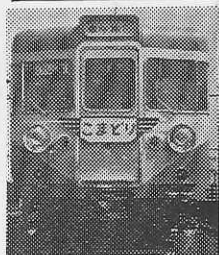


旅と文化

発行所 東京都千代田区
神田神保町2-3
財団法人全国
修学旅行研究協会
電話(301)0531・2426
編集・発行人
永井 昭



こまどり号誕生

各関係者の努力結実す

修学旅行専用電車として、東京の「ひので号」京阪神の「きぼろ号」に次いで東海三県の「こまどり号」が設定されたのは昨年四月からであるが、取敢えず東海型の電車を利用して三十五年度の春秋の修学旅行生を運んできた。この間、東海三県修旅委と全修協、各関係方面の熱心な努力、国鉄各関係方面の配慮、地元各銀行の国鉄利用債、億四千二百五十万円の引受けなど温かい協力によって、「こまどり号」の新車が本年三月二十日日本車輦工場において完成した。

- この新車は、ひので号やきぼろ号に種々の改良を加えたもので、特急並のスピードを持つ高性能の最新型の修学旅行専用電車である。その主な特色をあげると次の通りである。
- ① 各車両のボックスが引出式になって休養室に使用できる。
 - ② 座席の通路側に傘立てが設けられている。
 - ③ 各座席には、窓側の固定机に着脱可能な細長い机が取り付けられ、便所は和式水洗式一ヶ所である。
 - ④ 運転室の隣に放送室があつて、テープコッターが置けるようになつており、車内放送装置を利用して沿線の説明が聞かれるので社会科の勉強に役立つ。
 - ⑤ 出入口の所に飲料水タンク(四〇立入)が二ヶ所あり、その横に肩物入れがある。
 - ⑥ 便所は和式水洗式一ヶ所である。

「こまどり号」新車の誕生を祝う

東海三県修学旅行委員会 岩瀬 繁一

「旅の心は何かである。その心はけが旅を旅するものである。」と旅の心は「こまどり号」にある。また人は知る楽しみも、この知る楽しみが旅の大きな魅力である。しかし粗末な列車で、一般乗客との混雑では「こまどり号」は味をええ。知る楽しみも半減する。その意味で修学旅行列車が出来たこと、われわれ教育関係者の大きな喜びである。「こまどり号」としての修学旅行専用列車が出来た。それは、この修学旅行専用列車の中で楽しい学習が出来、展開する山々のかたははるけき思いを馳せることも出来る。一生「こまどり号」に「きぼろ号」が追いついた。

新車展示会開かる

名古屋・大垣・四日市駅で

新車「こまどり号」の展示会は次の日程で東海三県の各駅において行われることになった。

名古屋の展示会	大垣の展示会	四日市の展示会
三月二十一日(月) 十一時より十四時まで	三月二十一日(月) 十一時より十四時まで	三月二十一日(月) 十一時より十四時まで

祝「こまどり号」誕生

財団法人全国修学旅行研究協会理事長 山本 種一

東海道線はわが国交通の要路で、往き交る電車、列車の姿も益々華やかになりまして、四月九日からこの中に交つて、レインイエローとライトスカーレット色の明るい車体が歓迎した子供達を乗せて快速する姿が眺められることになりました。

これこそ東海三県修学旅行委員会が中心となり、凡ゆる困難を克服して作り上げた「こまどり号」であります。従来のような危険と不快な修学旅行を脱却して安全快適にしかも教室の延長として実施出来るようになったことは、全く修学旅行史上画期的なものであり、東海三県の教育の発展に大きな貢献が期待されます。

修学旅行は、一昨年度、東京、京阪神の例にならぬ専用電車設立の声が澎湃として、その向が洗面所になつていて二ヶ所の洗面器(プラスチック製)が備えてある。

その向が洗面所になつていて二ヶ所の洗面器(プラスチック製)が備えてある。

走るホテルの感じだ

こまどり号試運転に乗って

三月二十一日は「こまどり号」新車試運転の日である。夜来の雨も止んで日本晴の好天気。試運転区間は品川と平塚間往復、品川駅八番線ホームを出発した。

試運転の同乗者は、国鉄、日本車輦、全修協と全修協のF君と記者など合わせて二十名位である。早速、車内は時計と速度計が掛つてある。各車の隅には引出式の休養室もある。こまどり号は横浜・大船、藤沢を過ぎ、季節風の直線コースに入り、リズリズと速度を増し始めた。速度計は十五キロを示していた。

ガイド「私の喉がうまいので、生徒も先生も眠ってしまったワ」



原 いさむ



こまどり号の客車内部

(上)休養室(下)肩物集収箱

便利な机

洗面所と飲料水タンク

